



支えてもらった体験が支える側になる ～仲間と一緒に願いを叶える～

プール納めでは、幼児のこどもたちが、今年プールでできるようになったことを披露しました。自分のできることを行う安心感とみんなに見てもらおう達成感は、こどもにとって誇らしい瞬間になっていると感じました。

これから、プールでの自信を、運動会の活動へとつなげて取り組んでいきます。真っ先に種目へ挑戦する子もいれば、様子を伺う子もいます。私たちは一人ひとりの育ちを確認すると共に、運動会を通じて互いに刺激し合い、育ち合う姿に期待しています。

以前、年長の男児が跳び箱に挑戦している際、なかなか跳べずに悔しい思いをして泣いていました。すると、練習して跳べるようになった子が「俺が見てやるから、跳んでみな。」と励ましました。

そこで思い直した男児は再度挑戦しました。それでもすぐには跳べません。すると跳ぶたびに励ました子が「いいね！もう少し！」「手をもう少し前に置くんだよ。」「俺がやるのを見てな。」と声を掛けていました。そして、やっとの思いで男児が跳ぶと2人で大喜びをしていました。

励ました子は、普段は自分の気持ちを優先することが多い子でした。しかし、自分が苦勞して跳べるようになった時に、自分の悔しかった気持ちと仲間の悔しい気持ちを重ね、自分のこととして励ましていたのです。

そして、その励ましに応えたいと男児も精一杯、力を出していました。保育園は集団生活の場です。人に合わせて行動するのは大人でも大変なことです。しかし、こどもたちは仲間に刺激され、支えられて生活や遊びを充実させています。

こどもたちが互いに支え合う関係を作るには、こども自身が周囲の大人から支えられた経験が必要です。支えてもらった体験が支える側になり、より仲間づくりが育まれると信じ、こどもたち一人ひとりと向き合いたいと思います。

福寿会の方の寄付で絵本を購入させていただきました

スマホやタブレット、TVでの動画視聴が当たり前となりました。TVが主流だった頃は「昨日、〇〇(番組名)見た?」と言えば、同じ話題で話せたことが、今は同じタイトルの番組を見ている、内容が過去のものから最新のものが異なり、イメージの共有がされないことがあります。

私たちは絵本を通じて、同じ時間、同じ場所、同じ内容で安心して、一緒に物語を楽しむことを大切にしています。

絵本の読み聞かせは、文字が読めなくても、言葉がまだ十分に話せなくても、絵と大人の言葉で文学を楽しむことができます。そして、話してもらった大人と物語の世界を一緒に楽しむことで、イメージの共有ができます。

1歳児と接している時に、月が見えたので「あっ、お月様だね。」と話すと、こどもが舌を出して“あっかんべ”をしたことがあります。『おつきさまこんばんは』の絵本の背表紙の『おつきさま』が舌を出しているのを思い出し、“絵本で見たよ”ということを行動で知らせてくれました。そこで「おつきさまこんばんはの絵本で、お月様があっかんべしてたね。」と言うと、満足そうにうなずいていました。

絵本の感想を聞かなくても、こどもの心に残るお話は、実体験の中で自然と思い起こされ、湧き上がってきます。こどもたちは、その湧き上がった感情を身振りや言葉で表現して周囲の人へと伝えてくれます。私たちは伝えたい気持ちを受け止め、保育者や仲間との一緒にの安心感を育んでいきたいと思っています。



9月の目標

- ひよこ … 戸外で探索や自然物に触れて遊ぼう。
- りす … みたて・つもり遊びを通して、保育者や友だちとやり取りを楽しもう。
- うさぎ … 保育者や友だちと一緒に、身体を使った遊びを思いきり楽しもう。
- あおむし … 体調を整えて過ごし、友だちと一緒に身体を動かしてのびのび遊ぼう。
- さなぎ … 自分の考えや気持ちを伝え、友だちの話も聞く経験を積んでいこう。
- ちょう … 運動遊びを楽しみながら取り組み、自分自身や仲間を気遣おう。
- 異年齢 … 異年齢の仲間に親しみを持って活動を楽しもう。



9月11日(水) 防災訓練を行います。

大地震を想定した訓練を子ども達と行います。

- ① 子どもの所在の把握のために、送迎の際、登園チェックの記入を忘れずに！ (登園：○
降園：まつのき太郎)
- ② 非常時の連絡に一斉メールを使用します。日頃から、メールがきたらすぐに開封して、内容を確認するようお願いします。

